

## アイリスフーズ株式会社 岩手県奥州市との立地調印式について



▲（左から）岩手県商工労働観光部 部長 橋本良隆様、アイリスフーズ(株)代表取締役社長 大山健太郎、奥州市長 小沢昌記様

アイリスオーヤマ株式会社のグループ会社であるアイリスフーズ株式会社は、株式会社高橋フーズから切餅の製造及び販売等に関する事業を譲り受け、本日5月30日に岩手県奥州市と立地調印式を行いました。

### 【アイリスフーズ株式会社 代表取締役社長 大山 健太郎より】

本日は、奥州市と立地調印式を迎えることができ、大変うれしく思っております。アイリスオーヤマは東日本大震災で被災した地元企業として、被災地復興について様々な提言をさせていただいておりました。しかし、震災から4年が経ちましたが、提言だけでは進まず具体的な動きが必要ということで舞台アグリノベーションとアイリスフーズを設立し、コールド製法による「アイリスの生鮮米」の販売を強化しております。

今年の春に、高橋フーズ様から事業譲渡のお話を頂き、是非我々の力でご支援ができればと思いました。高橋フーズ様の製造のノウハウとアイリスオーヤマの商品開発力、そして全国規模での販売力を合わせることで切餅事業の拡大に努めたいと考えております。

### 【奥州市長 小沢 昌記様より】

今回、このようなかたちで奥州市とご縁を賜りましてありがとうございます。岩手県の中部に位置する奥州市は、全国でも有数の米所です。胆沢ダムの再建によりお米づくりに必要な農業用水の安定供給ができる環境も整っています。奥州市は東北における米所の中心として安心・安全なお米を全国に、そして世界に発信したいと考えております。

私達はアイリスフーズ様に対して、できる限りしっかりとサポートしてまいりますので、今後も益々密な関係を築いていきたいと考えております。

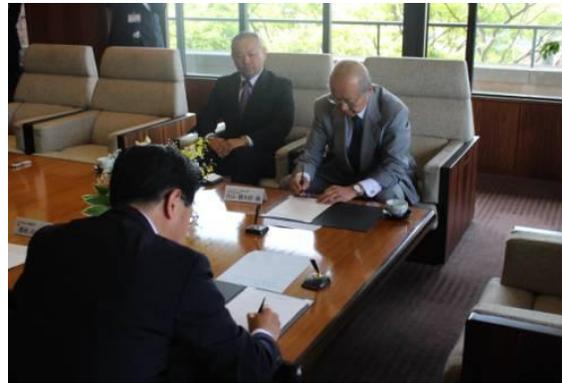
## NEWS RELEASE

【岩手県商工労働観光部 部長 橋本 良隆様より】

今般の奥州市への立地は、地元の雇用維持だけでなく、県内農業発展に向けて大きな力添えとなるものです。東日本大震災は東北の農地や農業施設、機械等に甚大な被害を与えたほか、農林水産物の生産と販売も大きな影響を受けました。県では大山社長のご提言にもありましたとおり、被災地を震災前の姿に戻すだけでなく、若者が地元を盛り上げ、地元へ就職できるような魅力ある町づくりに向けて様々な取組を進めていきます。今回工場を立地いただきます奥州市も被災地ではありますが、内陸地域の活性化は復興には欠かせません。今後も県内での新たな拠点整備など更なる事業拡大や若者の地元雇用など県内産業の活性化にご協力をお願いいたします。



▲代表取締役社長 大山 健太郎より挨拶



▲立地協定書への署名